

「しまね観光アクションプラン(案)」に対して寄せられた意見

項 目	意見の要旨	県の対応・考え方
1 おもてなし	<p>(1)おもてなしの心を大切に</p> <p>①お客様を迎える姿勢が出来ていないと思う。知名度が低い県だからこそ、連携(行政、県民、市民)が必要。</p> <p>②「県民すべてが観光マン」であることを認識・自覚するような県民・住民意識の改革施策を推進してほしい。</p> <p>③県民の自覚、観光客への対応・マナーの徹底が必要。</p> <p>④「もてなしの心」を育てることは非常によいと思う。 ・人材育成が必要と常々感じている。</p> <p>(2)島根の良さは、人の温かさ、自然</p> <p>①島根の良さは、人の温かさ、自然だと思う。 自然の中での体験ツアーがプランに記載されていた。島根らしくて良いと思う。</p> <p>②受け入れ対策として、障害者の方のサポートの仕組みや高齢者の方が観光に来られても安心してサポートできる有償ボランティア制度など、体制を作ってはどうか。</p>	<p>◆プラン【第5章 施策V】「おもてなし気運の向上、受け入れ体制の整備」により取り組みを進めます。</p> <p>・観光関連団体が実施するおもてなしスキルアップ研修への支援 ・外国人観光客のためのおもてなし研修の助成 ・市町村等が所有するトイレや観光案内板等の基盤整備に対する助成 などにより受け入れ体制の整備や観光客への案内体制の充実等を推進します。</p> <p>◆プラン【第5章 施策I】「地域の特色や魅力を生かした観光地づくり」により、「自然」「環境」「食」をテーマとしたテーマ型、参加・体験型観光メニューの開発・拡大の支援を行います。</p> <p>◇プラン記載以外の取り組み ・鳥取、島根両県では「鳥取・島根広域連携協働事業」等の活用による観光バリアフリー事業の支援を行うこととしています。 http://www.pref.shimane.lg.jp/npo/tottori_shimane/h21.html</p> <p>◆プラン【第5章 施策V】により、障害者の方用トイレ等の整備を促進します。</p> <p>・また、観光ガイドマップの点訳版や拡大文字版を作成し、関係機関に配布することとしています。</p>
2 地域の魅力再発見・掘り起こし	<p>(1)新しい観光スポットの開拓 ・「外部視点の導入」という施策の中心として「埋もれた観光資源の開拓・再発見」を付加してはいかがか。</p>	<p>◆プラン【第5章 施策I】により、大学教授や旅行会社の企画部門に所属する観光戦略アドバイザーからの意見を参考とするなど、観光資源の開拓・再発見と、外部視点の導入は一体的にすすめます。</p>

項 目	意見の要旨	県の対応・考え方
2 地域の魅力再発見・掘り起こし	(2)体験学習の推進 ・農業体験などボランティアや体験学習として参加したい人を県内全域で、毎年定期的に受け入れる体制を確立すべきだと思う。	<p>◆プラン【第5章 施策Ⅰ】により、エコ、食ツーリズムなど、テーマ型、参加・体験型観光メニューの開発・拡大の支援を行います。(再掲)</p> <p>◇プラン記載以外の取り組み ・平成21年度「しまね協働実践事業」により農地を守り活かす活動の支援事業が実施されます。 http://www.pref.shimane.lg.jp/npo/cooperation/presen210602.html</p>
3 宣伝の強化等	<p>(1)食に関するPR ①島根は米、酒、魚、水、茶などがとても美味しく、友人や来客は皆、満足して帰られる。“なぜもっと宣伝をして、観光客を呼ばないのか”と、何度となく言われた。宣伝をタイミング良く行うべき。</p> <p>②地元の名物料理を出せる店舗の拡大、旅館やホテル等の宿泊施設の充実は、観光客誘致には不可欠である。</p> <p>③島根の農作物・水産物を国内にアピールするには、全国放送等のテレビ放送が一番効果的だと思う。</p> <p>(2)テレビの活用 ①全国ネットのテレビ放映の効果は抜群</p> <p>②島根の農作物・水産物を国内にアピールするには、全国放送等のテレビ放送が一番効果的だと思う。(再掲)</p> <p>(3)PR活動の継続が必要</p> <p>・知名度が低い。まずPR活動を実施すべき。ドラマなどでずいぶん知られるようになったが継続しなければすぐ忘れられる。</p> <p>(4)石見銀山の活用 ・どんな価値がどこにあるのか、何が貴重なのかというような面を観光客に十分に理解してもらう施策・対応をすすめ、口コミで宣伝されるような知恵が必要</p>	<p>(1)～(4)</p> <p>◆プラン【第5章】島根の観光宣伝の強化や島根の豊かな「景観」「歴史、文化」「食」など、地域資源を活用した魅力ある観光地づくりを推進するため、以下の事業を拡充・実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メディアやインターネットを活用した情報発信の充実 ・広域観光案内板の整備 ・市町村等が実施するトイレ、案内板など観光地施設整備の支援 ・地域で独自に取り組む観光商品づくり等を支援 等 <p>(参考:島根県 平成21年度6月補正) http://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/zaisei/yosan/yosanh21/h21_6hosei/</p> <p>(1)～(2)</p> <p>◇プラン記載以外の取り組み 県内外への県産品販路拡大の一助とするため「おいしさ満載 ネット発信事業」に取り組んでいます。登録料は無料で、産品情報等を画像を使って掲載することができ、通信販売にも対応できるような仕組みにしています。681事業者登録。</p> <p>【しまねブランド推進課】 http://web-gis.pref.shimane.lg.jp/oishisa/</p> <p>◆プラン【第6章 各圏域ごとの取り組み】では、県下各地域の「海」と「山」の豊富な食材を活かした魅力向上の取り組みを行うこととしています。</p> <p>◆プラン【第5章 施策Ⅰ-2】では、世界遺産「石見銀山」を核とした観光の推進のため、理解度向上対策等を実施することとしています。</p>

項 目	意見の要旨	県の対応・考え方
4 交通関係	<p>(1)交通の便</p> <p>①島根は、交通の便が悪い。観光客に長く滞在してもらうように滞在型プランを売る。素晴らしい観光地があるので移動手段を何とかすれば、もっとリピーターが増えると思う。</p> <p>②観光地の最寄り駅と観光地間のバスの連結が不可欠。交通機関の連結の充実を図ることが必要</p> <p>(2)交通機関利用者へのサービスの提案等</p> <p>①クルーズ船の浜田寄港</p> <p>②SLやまぐち号の浜田延伸</p> <p>③バイパス一律低額料金にするか、どこからでも一日乗り降り自由にする。</p> <p>④航空機利用者に対しては、飛行場から観光地までの往復アクセス利用として、バス、列車と観光地の施設見学料等を特別料金で販売する。</p> <p>⑤旅行会社を通じて松江を訪れる観光客には、無料カードを配布して松江レークライン、松江城を無料にする。</p>	<p>◆プラン【第5章 施策Ⅳ】「広域観光の推進」、【第6章】各圏域ごとの取り組みにより滞在型観光を推進することとしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「山陰文化観光圏協議会」「神話の国縁結び観光協会」など広域連携による観光の推進 ・民間施設等が実施している独自の連絡バスなどを含めた広域的な二次交通マップや、町歩きマップなどの作成 <p>◇参考とさせていただきます。 交通機関の連結については、関係機関等との協議や広域連携の取り組みにより推進します。</p> <p>◆プラン【第5章 施策Ⅱ】</p> <p>①クルーズ船については、国内外の客船の誘致に積極的に取り組むこととしています。</p> <p>④特別料金チケットについては、空港も立ち寄り地点とした「電車・バスフリー乗車券」「観光あいのりタクシー」などの企画について情報提供を行い、旅行者の利便性向上を図ります。</p> <p>◇参考とさせていただきます。 ②、③、⑤の項目については、事業実施主体の意向によります。 ご意見を参考とさせていただきます。</p> <p>(参考:お得なチケット情報) http://www.kankou.pref.shimane.jp/access/index.html</p>
5 地産地消	<p>○地産地消をもっと勧めていくことにより、農業生産者に従事する者の誇りや苦勞、思いも相互に伝わる。</p>	<p>◆プラン【第6章 各圏域ごとの取り組み】 県下各地域の「海」と「山」の豊富な食材を活かした「食」による魅力向上でもてなす観光地づくりを推進します。</p> <p>◇プラン記載以外の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の食文化、農業などの地元産業に対する理解を深めていたため、地元の飲食店や企業・病院等の給食施設における県産食材の積極的な利用を働きかけることとしています。 ・平成21年度は給食関係者の方と県産農産物(米・野菜)の利用拡大の検討を進めていく予定です。 ・地産地消等の取り組みは【しまねブランド推進課】で取り組んでいます。 http://www.pref.shimane.lg.jp/brand/